

—特集「辰年を翔る ～あなたの抱負を聞かせてください！～」— 「有志竟成の会」とは

創設経緯

2010年9月、若手経営者塾である三樹会（さんじゅかい）（1～3期生）が創設されました。その後、名称を変えて2014年5月、青雲の会（4～7期生）として運営され、2019年4月これらの後継塾として有志竟成の会（ゆうしきょうせいのかい）（8期生～）が創設されました。

有志竟成とは「志ある者、事（こと）竟（つい）に成る」という歴史書『後漢書』からいただいた言葉で、堅い志を持つ者は、いかなる困難に遭っても必ずその志を成し遂げる、という意味です。

2023年度は11期生（中予地区8名、東予地区8名、南予地区4名 合計20名）が入塾し、DX、SDGs、人財育成、マネジメント向上など経営に関する知識を養い、同期と交流しています。

目的

愛媛県内で事業を行う若手経営者が、経営に関する知識を学び、県内経営者との交流を図り、県内経済の発展に貢献していくものです。

卒塾生

塾名	創設	会期	卒塾生
三樹会	2010年9月	1～3期	57名
青雲の会	2014年5月	4～7期	59名
有志竟成の会	2019年4月	8期～10期	74名

「三樹」とは

国のために、1年の計画を立てるのであれば、1年で収穫できる穀物を植えば良い、10年の計画を立てるのであれば、10年で大きくなる樹を植えば良い、一生涯の計画を立てるのであれば、人を育てることである。

※中国の故事「管子」からの引用

「青雲」とは

地位を高め、学徳を積み、世のため、人のため、国家のために身命を賭す覚悟や志、決意のこと。

※同じく中国の故事からの引用

【11期生例会の様子】

